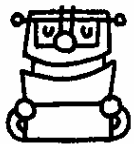


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人と動物の体 / 理解シート

食道と気管とは、どこがどうちがうの

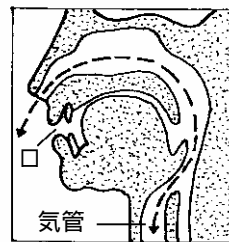


気管は鼻や口から吸った空気の通り道、食道は、それ以外の食べ物や水などの通り道さ。

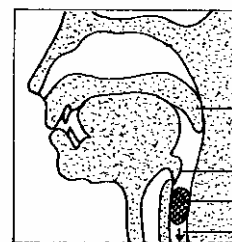
人間の口と鼻、食道と気管は、のどのおくでつながっています。ふつうは、鼻から吸った息が肺にいくように、気管の口があいています。食べ物や水を飲みこむしゅん間は、気管の入り口にある筋肉が気管にふたをするため、食べ物は、食道のほうへ入っていきます。同時に、のどちんこが鼻に通じるところをふさいでいます。

あわてて水を飲みこんだりすると、食道をとじるのが間にあわず、水が気管に入ってせきこんだり、鼻から水をふき出すことになったりします。

食道は食べ物などが入ってくると、食道の筋肉が、いも虫が進むときと同じような動き方で、食べ物を胃のほうへ送っていきます。



息をするときののど



食べるときののど

鼻や気管には、ごみなどが入るのを防ぐしかけがある

気管は、肺に入ると細かく枝分かれして気管支となり、そのまわりに小さい肺ほうとよばれるふくろがたくさんつながっています。鼻から吸った空気中の酸素は、肺ほうのまわりの毛細血管から体内にとり入れられ、二酸化炭素も肺ほうから外に出されます。肺の中に空気中のごみや細菌などが入らないよう、鼻の中には鼻毛が生え、気管や気管支の内側は、ねばねばしたねん液が出ています。鼻毛についたごみは鼻くそになり、ねん液についたごみなどは、気管支のかべに生えている細かい毛のはたらきで、のどのおくへ送り返されます。これが、たんになります。